

## 令和7年度鹿児島県大学図書館協議会研修会記録

日 時：令和7年12月19日（金）10：20～12：00

方 式：オンライン（Zoom）

参 加：22名

演 題：「防災情報を伝えるために利用者に寄り添った展示づくり

－防災専門図書館の展示紹介－」

講 師：矢野陽子氏（公益社団法人 全国市有物件災害共済会

防災専門図書館 司書・学芸員）

### （1）開会

令和7年度鹿児島県大学図書館協議会の代表館である鹿児島女子短期大学図書館長代理の鹿児島女子短期大学長 村若 修 氏より開会の挨拶が行われた。

### （2）内容

1. 防災専門図書館の紹介 ～誰がする展示なのか～
2. 図書館の利用者 ～誰に対する展示なのか～
3. 展示の目的 ～何を伝えたいのか～
4. 常設展 ～来館されたからには、命を守る情報を少しでも持って帰ってもらう。  
そのためには？～

### （3）概要

防災専門図書館設置の経緯及び「災害」、防災専門図書館の理念について説明がなされた。

過去の災害の経験から命を守る情報を伝えるという目的を基に、利用者来館者にわかりやすく、いかに興味を持たせるような展示にするか、工夫を重ねたことが広報となり、コロナ禍で利用者数が減少しながらも来館者数は増加した結果となった点が説明された。

展示における対象者の設定を行い、利用者の声や見る側としての視点の転換によって得た気づきから、展示の在り方を改善し、文章だけではなく図で可視化するといった数々の具体的な事例の紹介がなされた。

利用者に正しく情報を理解してもらうため、「伝える」ことへの熱量を持ち役割を果たすことは、図書館の大きな意義であることを改めて実感する内容であった。